

太陽電池や半導体・車… 東北大

エコ材料研究へ 産学連携組織

東北大の金属材料研究
所はこのほど、地球温
暖化対策となる新エネ
ルギー・省エネルギーに
関する先端材料の産学
連携組織「低炭素社会
基盤材

料融合研究センター」を
発足、本格始動した。水
素エネルギー向け貯蔵材
料や省エネ型半導体・太
陽電池の新材料、車両軽
量化に対応する新鋼材な
どの共同研究プロジェクト
を順次始めた。自動車
や鉄鋼、家電、エネルギ
ーなどの分野で技術の実
用化につなげる。

同センターは今年度当
初に金属材料研究所の内
部組織として発足。この
ほど所属教授らが複数の
大手企業と共同研究を進
める合意書をかわした。
当面は古原忠センター
長ら6人の教授が兼任で
担当し、企業との間で個

別の基礎・応用研究プロ
ジェクトを順次開始す
る。各プロジェクトには
金属材料研究所の他の教
授陣も参画する。

東北大の金属材料研究
所は材料研究分野におけ
る有力研究所のひとつ。

現在はエレクトロニクス
材料やエネルギー材料な
どに力を入れ、個別の教
授らが企業との共同研究
にあたっている。新セン
ターでは低炭素社会を切
り口に教授の知見を結
集。注力分野の産学案件
をさらに立ち上げ、東北
大の技術の産業界への応
用を促す。